

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和8年2月4日

1. 活動テーマ

<テーマ>

1歳児…この葉っぱはなんだろう

<テーマ設定理由>

・子どもたちが繰り返し口にしていた「はっば」「これなに」というつぶやきから、見て・触って・においをかぐなどする。

2. 活動スケジュール

・ほうれん草を見せ、「これはなんだろう」と声をかけ、興味を引き出す。
 ・触る・見る・においをかぐなど、自由に関わりながら感触などを確かめる。
 ・子どものつぶやきを受け止め、名前や気づきを共有する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・園庭の畑の前で行う。
 ・ほうれん草のプランターを用意。
 ・皿やカップも用意

4. 探究活動の実践

<活動内容>

・ほうれん草を用意し、子どもたちが自由に見たり触ったりしながら、親しむ活動を行った。
 ・「はっば」と言いながらつまんで見せ合ったり、「みどり」と色に気づいたりする姿が見られた。
 ・匂いをかいで確かめたり、根っこを抜いて「ごぼう」「だいこん」と、これまでの経験と結びつけて表現する様子があった。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・プランターのほうれん草を使っての葉っぱの探究活動を行う。
 ・保育士が運んでくると「はっば」と言いながら触り始める。
 ・保育士「これ何の葉っぱかな」と聞いてみるとしばらくして「だいこん」と答えた。
 ・ほうれん草だと伝えると「ほうれんそう」とオウム返しをしていた。
 ・触っていた子ども達に「匂いはするかな」と言葉を掛けると匂いを嗅いでいた。
 ・ほうれん草をプランターから抜くと根っこに気づき、引っ張って付いている土を触っていた。
 ・子ども「これ なに」と聞いてきたので、「なんだろうね」と聞いてみると「しっぽ」と答えながら、触っていた。
 ・プランターから抜いたほうれん草を畑の前のコンクリートに「こうやって、こうやって」と並べていた。
 ・並べ終わると1枚1枚をちぎり始める。その様子を見た数人の子ども達も同じようにちぎっていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・触る、見る、においをかぐ、言葉で確かめるなど、子どもの姿がたくさん見られた。
 ・実際に触ったりにおいをかいだりすることで、子どもたちは野菜を身近なものとして感じているのではないと思う。実際に給食の時間に野菜を見ては「これは、〇〇だね」など保育士に確認しながら食べるように、見るだけでなく五感で確かめる経験が大切だと改めて感じた。
 ・「これなに」「はっば」といったつぶやきを繰り返す中で、子どもなりに理解を深めようとしているように感じたので、すぐに答えるのではなく、やり取りを重ねることも探究活動や言葉の育ち、その他の活動などにつながるのではないかと感じた。
 ・子どもの気づきを待ってから言葉を添えることで、安心して探索を続ける姿が見られた。保育士が見守る姿勢で関わることの大切さを感じた。
 ・特定の子どもの興味をもって深く関わる姿が見られた一方で、あまり興味や関心を持たない子もいるので、今後は素材の置き方や関わり方を工夫し、多くの子どもが自分のペースで探究活動に参加できるようにしていきたいと考えている。